

第 3221 回例会記録 日時:2026 年 9 月 24 日(木)12:30~ 会場:ホテルサンシャイン	本日のプログラム	次回のプログラム
	10 月 1 日(木)12:30~ 委員会担当例会 ～国際奉仕委員会～	10 月 15 日(木)18:00~ 夜間例会 ～JCとの合同例会～
山本倫生ガバナー地区スローガン	親睦から始まる持続可能な奉仕！～原点回帰・ロータリーを楽しんでいますか？～	
石井朋子会長テーマ	“絆 さらに前へ進めよう”	

社会奉仕委員会 … 秋の全国交通安全運動 街頭啓発 …



会長報告 石井会長

本日も例会にお集まりいただきありがとうございます。先日成田 SAA の御母堂様のご逝去をお知らせ致しました。通夜・火葬は終えられ、本日午後 1 時より遠軽斎場にて告別式が執り行われます。例会前にお参りをし、クラブの規定に従って御香典を届けております事をご報告致します。今日は秋元会員の会員卓話です。後程、よろしくお願い致します。

そして今日は早朝から、秋の交通安全街頭啓発にご協力いただきありがとうございます。本日の報告ですが、年 2 回の交通安全についてお話したいと思います。当たり前のように長く交通安全運動をしておりましたが、以前は黄色い旗運動と言っていたと思います。この活動は昭和56年にスタートしています。釧路方面本部(中標津・標津・別海・羅臼)が選定されました。なぜ黄色旗だったのかと思いましたが、①視認性～人の目につく色、目立つ色 ②視認性～遠くからも良く見え目に留まる事 ③進出性～黄色は実際より手前に有るように感ずることからドライバーの視線を惹きやすいことから使用する事となったとの事です。国道・道道・市町村道と黄色旗を掲げて交通安全を願っています。9 月 1 日からは生活道路の制限速度も変わりましたので、自分の命を守るそして人の命も守るため、交通ルールを守り続けたいと思います。

また、先日も遠高ラグビー部の事をお話ししましたが、期待通りに花園の切符を手にくれました。若者のために、我々大人が奉仕の精神で後押しをする番となります。野球部も期待しておりますので、皆さん応援してください。

幹事報告 前島幹事

地区大会のスケジュール・配車表を確認しておいてください。なお、宿泊代はチェックイン時に各自でお願いします。

委員会報告 親睦活動委員会(佐竹委員長)

誕生日:石井会員、金谷会員、成田会員



結婚記念日:乾(禧)会員、宇野会員



遠軽商工会議所(本間会員)

・10/2(金)防衛講演会を開催します。自衛隊幹部が演習で欠席となりますので、多くの皆様のご出席をお願いします。

・遠軽青少年吹奏楽団が創設初の全国大会出場を果たし、10/4(日)に壮行演奏会を行います。チケット購入や遠征資金などのご協力などもお願いします。

本日のプログラム 会員卓話 ～秋元直樹会員～

まずは今回入会して間もない私に会員卓話の機会を与えていただき、ありがとうございます。自己紹介も兼ねて話していいということで、これから長きに渡り交流を持たせていただくロータリークラブ会員の皆様に少しでも私という人間を知っていただく良い機会になればと思っています。私は現在42歳になりました。先日定型カルチノイドという肺がんの一種になり、肺の1/3を切除する手術を行いました。予後もよく転移もないことで抗がん剤の必要もなく、3か月おきの経過観察は必要ですが、今までどおりの生活に戻ることができて、ほっとしています。それと同時に改めて、日々の生活がどれだけ幸せなものであったか、大病と向き合って改めて痛感しました。大げさではありますが、与えてもらった命と思うようにして、タバコとは一生の別れを告げて、残りの人生を精一杯生きていきたいと思います。



私の自己紹介に話を戻しますと、私は昭和59年7月10日に生を受け、生田原保育所、生田原小学校、生田原中学校を卒業し、遠軽高校に進学しました。父は生田原の伊吹地区で農業を営む祖父の次男として生まれました。母は滝上の生まれになります。祖父はもともと社名淵のうまれで、いまだに社名淵に行く秋元ですという人っています。小学校・中学校では野球を嗜み、高校ではラグビー部に所属しました。私の一つ上の学年の先輩が10数年ぶりに花園に出場し、全国大会に出場をさせていただいたのは、今でも素晴らしい思い出です。私は2年生でありましたので、外から応援をさせていただきました。高校卒業後は18年生まれ育った遠軽町を離れ、家業である鉄工所の跡を継ぐため建築科のある専門学校に進学しました。本当は建築科のある大学に行きたかったのですが、ラグビー付の毎日で学力が足りず、高校の先生から頼むから大学はやめてくれとお願いをされ、仕方なく専門学校に進んだ次第です。なんとか札幌の専門学校を卒業し、その後は札幌の設備会社に3年、建築会社に2年勤めました。家業を継ぐためにすぐ帰ることも考えましたが、違う釜の飯を食べてから帰ってこいという親の厳しくも優しい方針のもと、25歳で地元遠軽に戻りました。遠軽に戻る際に、その時お付き合いをしていた今の妻と結婚し、一緒に札幌から連れてきました。高校の同級生で遠軽生まれ遠軽育ちなので、一緒に帰ってきたという言い方の方が正しいでしょうか。結婚して17年が経ちますが、今も変わらず仲良くやっています。その後30歳に長男・32歳で次男が誕生し、早いもので今年長男は中学生、次男は小学校5年生になりました。二人とも私と同じように楯門球を追いかけてながら、ラグビー漬けの毎日を送っています。時間が許す限り、週末は子どもの試合を見に行くのが私の心の癒しになっています。

ここから私の本質的な部分を紹介させてください。皆様ご承知のとおり、私は町議会議員を務めており、現在4期目に入りました。この間、先にご勇退された前田先輩や高橋先輩に公私ともにたくさんのご指導を受けました。そして現在は共に議会議員を務め、同じ会派で志を共にする前島議員・佐藤議員と一緒に活動をしています。皆様になぜ議員になったのかという話をよく聞かれます。私が初当選をした29歳当時、私が居住する生田原地域では旧生田原町長の林照夫町議が現職として勤めていました。御年77歳でそろそろ後進に道を譲ろうと後任を探したところ、見つからず。最終的に後援会長を務めていたうちの父が出るべきだろうという声が強まってきました。私自身もきつと父が選挙に出るのだろう、その分会社が大変になるから気を引き締めないといかないと心の準備をしていました。ただうちの父は根っからの職人。政治の世界に身を投じるのは抵抗があったのでしょうか。最終的に息子を立候補させるということで、整理がつき、私が立候補をすることになりました。正直なところ、僕みたいな人間に務まるのかとすごく心配でした。たぶん周りも心配だったと思います。ただ町づくりが大好きで商工会青年部の部長もしていたことから、その延長戦上で頑張ればいいと腹をくくり、なんとか当選することができました。今思い返すと、妻は妊娠6か月、もの凄い大きな選択をしたと思います。今も僕の政治活動に積極的に協力してくれる妻には感謝しかありません。

そのような経緯で議員になった私ですが、やはり高い志をもって満を持して議員になったわけではない僕は非常に苦労しました。カッコいい先輩のように高潔な信念を持ち合わせているわけでもない、ただ若いだけで町を良くしたい思いだけでは通用しないことも多くありました。僕が恵まれていたのは、若い議員が僕一人だけだったので、何度失敗しても恥をかいでも再度チャレンジをさせてくれる先輩が多くいたことでした。そのおかげもあり、12年経った今は、まだまだという先輩もここにはたくさんいらっしゃいますが、とりあえず人間として議員として理想にはまだ届きませんが、大きく成長できたと思っています。奉仕という崇高な旗印のもとに集まるロータリークラブというこの組織は、僕にとってたくさんの皆様とふれあい意見を聞かせていただける重要な場として、これから先も大切にしていきたい、人のためになることが好きで人が集まるところが大好きな僕にとっては最高の居場所です。是非これからもロータリアンの皆様には、まだまだ至らぬ点も多くありますが、末永くお付き合いをさせていただければ幸いです。雑駁ではありますが、以上で終わります。

■ニコニコ BOX

(教育長再任) 佐藤祐治会員 10,000 円

(遠軽高校ラグビー一部花園出場)
佐藤和徳会員 5,000 円

2026-27 年度累計 186,000円

■出席報告

例会日	会員数	出席計算会員数	出席者数	メイクアップ	出席率	無断欠席
9/24	47	46	32		69.6%	0

■編集・発行:メディア委員会

委員長: 木村一則 副委員長: 本間克明

委員: 加藤幸徳、河原英男、佐藤健治、佐藤好生

朝長賢一、長嶋宏明、福家 貢